



会報

No.140

宮崎県教育研究連合会

事務局 宮崎市西池町 9-8(校長会館内)

TEL・FAX (0985)27-4508

<http://www.miyakyoukenren.sakura.ne.jp>



「おもてな・し」を 教研全国大会で 宮崎ならではの

宮崎県教育研究連合会 理事長 横山 登

令和二年がスタート、今年は東京オリンピック開催の年で、連日オリンピックの話が賑わっています。今からのスポーツを応援しようかとワクワクします。皆さんはどのスポーツが楽しみですか？

その中で、今年は、全日教連の教育研究全国大会宮崎大会も開催されます。全日教連に加盟している団体の中で、主要六団体が持ち回りで大会を開いています。オリンピックとともに教研大会も成功することを願っています。

ところで、皆さんは、全日本教職員連盟の教育新聞の令和元年十二月十日「第五九五号」をご覧になったでしょうか。私は見て、驚きました。見出しに「給特法改正成る」全日教連の国会での要望結果」とあります。全日教連は、教職員団体として唯一、国会に招致され、給特法改正案について郡司委員長が発言されました。その様子はYouTubeなどでも見る事ができます。

私たちの代表である全日教連の要望がこのように結実されたことはとても喜ばしく、誇りに感じますし、私たち宮教研連が長年応援し続けてきた成果でもあると思います。

また、教育新聞令和二年一月十日「第五九六号」の郡司委員長と萩生田文部科学大臣との新春対談は、これからの教育を考える上で、非常に興味深い内容でした。

このように全日教連の教育新聞に掲載されている記事は、精力的に活動を行っていただいている全日教連の活動の成果の一端が表れており、私たちの勇気にもなります。これからの益々のご活躍を期待します。

そんな全日本教職員連盟の主要な事業の一つが教育研究全国大会です。「美しい日本人の心を育てる」という理念を共にする全国の有志が、今年八月に、宮崎に集まります。参加される全国の方々には宮崎大会をとっても楽しみにされています。私たち宮教研連としては、「おもてなし」の精神を発揮し、全国の皆さんのご期待に応えたいものです。是非、皆さんで宮崎大会を盛り上げていきましょう！

日本教師中華民国訪問研修 (R2. 1/4~7)

一月三日から七日までの五日間にわたって、第三五回日本教師中華民国訪問研修に参加させていただきました。恥ずかしい話、初めて海外へ行くという事で、数日前から緊張しておりました。しかし、台湾の先生方をはじめ、同じ訪問研修に参加されていた先生方との交流を通して、緊張もほぐれ、最終日には、同じ職場で働いている仲間になさえ思えてきました。また、台湾の歴史や教育現場などを訪問することができました。また、台湾のジェンダー教育についても研修を深めることができました。宮教研連の会員だからこそ、このような貴重な経験をさせていただけると改めて実感することができました。今回の貴重な経験を延岡支会の会員の先生方をはじめ、勤務する学校の先生方、子どもたちに伝えていきたいです。このような貴重な機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございます。

- ◆ (延岡支会) 東坂将秀



中華民国故宮博物院にて

地教師の言葉と男女共用トイレを実際に利用して肌で感じ、帰国後、日本で流れる台湾のニュースがまるで違ってみえました。今後さらに研修を深め、グローバルな視点を持ち、子供たちを幸せに導ける教師でありたいとの思いを一層強くしました。

(宮崎支会)

水永正宗

すべて新鮮で溢れる学び。現地の方々の心の温かさ。全日教連の宮教研連の組織力と歴史。全国の仲間と紡ぐ絆。日本の文科省にあたる教育部での意見交換では、大臣より、全日教連が中華民国と過去三十四年間に亘りこのように対談を続けて、切磋琢磨してきたことを伺いました。小学校と中学校の見学では、日本と同じように子供たちが学び、教職員が熱心に指導にあたっていました。当たり前に感じていた教育現場の日常が、人が成長するための尊い過程であることを再認識させられました。また、研修テーマ「ジェンダー教育」について学び、中華民国がジェンダーインデックス世界九位（アジアトップ）である所以を、現



中華民国教育部にて

令和元年度 第5回 宮教研連のつどい(R1. 8/31)

美しい日本人の心を育む

《平成から令和へ引き継ぐもの》

宮崎県教育研究連合会の第五回宮教研連のつどい(研究大会)は、八月三十一日(土)、宮崎市佐土原総合文化センターにおいて開催され、二百名近くの会員が集まり、盛況となりました。

第一部では、算数教育、道徳教育、外国語科・外国語活動、キャリア教育・生徒指導の四つの分科会を行いました。各支会の七名の研究員が、新しい時代の教育課題解決に向け、一年間に亘る研究と実践を行い、その成果と課題を発表しました。その後、研究協議が行われ、参加者間で活発な議論も行われました。

第二部は、大分県中津市出身のシンガーソングライター蘭華さんを講師に迎え、記念講演が行われました。約二時間に亘り、自作曲の歌唱も交えた講演では、平成から令和になり、古き良き昭和の時代が少しずつ遠い記憶に変わりつつある中、日本人が大切にすべき大切な家族の絆、親子の愛、恩師への感謝などの大切さに改めて気付かされました。

今回の研究大会では、時代が変わっても大切にすべき「不易」と、時代の流れに柔軟に対応していくしなやかさ「流行」が教育に求められていることを再認識すると共に、会員相互の連帯を深め、本会の使命と存在意義を確認する大会となりました。



熱唱する蘭華さん



分科会

宮教研連主催 各種研修会の様子

教員採用模試 (5/26)



↑ 第1回スクールマネジメント研修 (7/27)

講師 榎木満宮教研連会長



↓ 第2回教師力向上研修 (6/23)

講師 半田健宮崎大学講師



第1回教師力向上研修 (5/11)

講師 末住祐子先生



↓ 第3回教師力向上研修 (延岡) (8/24)

講師 末住祐子先生



第3回スクールマネジメント研修 (12/1)

講師 長濱保廣宮崎空港ビル株式会社社長



全日本教職員連盟 第36回教育研究全国大会 岐阜大会 (R1. 8/11~12)

二〇二〇宮崎大会の
開催を見据えて

一 分科会
研修部長 坂元 堅

第一分科会に参加しました。全日教連の中心となるテーマですが、教科教育を凌駕するような広い内容であり、発表者が一名足りておらず、参加者も少ない点は残念でした。しかし、高橋史朗先生のお話は非常に納得でき共感を覚えました。研究討議は、研修等で行う、少人数での話し合い形式で良かったと思いません。グループ分けも丁寧に細かく分けられていましたが、逆に、説明や移動に時間を要してしまいました。

異団体の方々の話を聞くのはとても参考になります。が、あまりにも実情が違いすぎるため、話し合いはあまり深まらず、情報交換会のような感じになったこととは否めません。発表者のジャンルは同じでも、発表内容が大きく違う場合には、協議の柱が立てられていても、どう協議を



分科会

進めていくのか到達点が見出しにくいと感じました。

二 全体会
来賓あいさつの数が多く感じますが仕方ないでしょう。短く済ませてくださる方もおられ、予定時間より余裕があつてよかったです。

講演は、やはり著名人の方が参加者の反応は良かったです。今回は、参加者に体験希望者を募るなどとても盛り上がりました。講演は、インタビュー形式でしたが、インタビュアーがとても上手に話を引き出してくださり、聞き応えがありました。有名ではあるが、お話しが苦手な著名人の方などにとつては、とても良い形式に思えました。

三 会員交流会
会員交流会では、今回は円卓の座席で、途中にクイズやビンゴなどがあり、軽くつまみながら席を自由に移動して、たくさんの方とお話しできたのはよかったですと思います。

岐阜大会の交流会は、限られた予算の中で、最大限の「おもてなし」をして頂いているのが伝わるような温かい会でした。



開会式

四 所感
宮崎県教育研究連合会は、昨年度で創設五十周年を迎えましたが、創設時から時代も移り変わってきています。本会の存在意義と価値についてしっかりと引き継ぎつつ、新しい時代に対応していかなければなりません。

そのためには、教育研究大会が所期の目的を達成できるように、限られた予算を、どこに、どのように配分して運営していくかをしっかりと考えて、準備していかなくてはと考へさせられた大会でした。



記念講演→↓
講師は元ボクサーの内藤大助氏



全体会→



全日本教職員連盟 第37回教育研究全国大会 宮崎大会 (R2. 8/1~2)

- 期日 令和2年8月1日(土)・2日(日)
- 会場 シーガイアコンベンションセンター
- 内容 1日 分科会、助言者ゼミナール(6会場)
学習指導・道徳・健康教育マネジメント等
6分科会に分かれて、研究発表・協議等
- 2日 全体会
記念講演
演題 「人生が面白くなる心理学」
講師 植木 理恵 氏
(心理学者・臨床心理士・慶應義塾大学講師)



植木理恵氏
東京大学大学院教育心理学科単位修了。日本教育心理学会「木戸奨励賞」「優秀論文賞」を史上最年少で受賞。フジテレビ系「ホンマでっか!?TV」レギュラー。「本当にわかる心理学」(日本実業出版社)ほか、著書多数。

全国規模の研修会の報告

教育シンポジウム島根

普段行く機会が少ない、山陰地方の島根県出雲市に行く機会をいただけたことが有り難かったです。会の中で出てきた話の中で、「ヒラメ集団の中にアナゴを一匹放つと、緊張でヒラメが長生きする」という例え話が、正に土江博昭氏が学校現場への行政職出向をされた具体例であると思いました。多数派の中に異質な価値観のものが同席する事で、集団に程よい緊張感が生まれ、集団が活性化するという考え方は、学校現場や子どもたちの組織づくり・集団づくりにも転用価値のあるものだと考えます。今後とも、さまざまな研修を積み重ね、自分の中で、多様な価値観を受け入れられる器を作り上げて行きたいと感じました。

(南那珂支会 真方悟史)

教育シンポジウム島根

興味深いお言葉が多く、多方面からのお考えを聞くことができる機会でした。「令和の時代の縁づくり」は、新しい時代の教育にとって、重要なテーマであると思いました。お話の中に出てきた「判断力」と「決断力」の違いが鮮明でした。クレーム対応は初期対応が大切であり、丁寧な対応をしていく必要があること、信頼を得る会話をすすめること、自分から近づき声をかけ、巻き込んでいくこと、「ありがとうございます。協力して下さい。」の言葉を巧みに使うことなど、積極的に保護者の中に入って情報を得る取組は、自分でも実践したいと思いました。

(本部役員 谷口洋子)

全日教連次期リーダー研修会

教育現場を取り巻く諸問題において、現場レベルで求めていることと、国が認識している内容にズレがあること、現場の声がなかなか届いていないことがとても衝撃的でした。外国語専任教員の加配一つとってみても、国からすると「億単位の予算をつけてようやく加配してやった」という認識ですが、現場からすると加配されている学校は本当に限られており、ほとんどの現場では多忙を極めている現状があります。

「働き方改革」などの抜本的な改革や取組は、国や県、市教委が主導で、具体的に大きく取り組んでいかないと変わらないもの、現場では改革に限界があるものばかりです。そこで、国に声を上げていく大きな組織の存在が大変重要で、それが私達全日教連なのだ、ということを経験で再認識することができました。

今回の研修で学ばせていただいたことを、大切に、会員の先生方はもちろん、職場の先生方にも積極的に声掛けをして、仲間みんなで力を合わせて、子ども達のために私達が元気で働くことのできる職場づくりを担っていきたいと思っています。

(延岡支会 山田雅彦)

全日教連次期リーダー研修会

全日教連という組織に所属する意義としては、「個人で、現場の願いを届ける事の難しさ」「研修で学ぶ質の低下」などの問題を解決できる力があるということだと思います。そして、子どもや教師を取り巻く環境を改善していくために、組織の強みを周りにも伝え、守っていく必要があると感じました。

自民党本部での義家弘介議員との懇談会では、普段は聞けない行政から見た教育現場のことや、これからの教育の在り方などを伺うことができました。その中で印象に残っているのは、義家氏の教育に対する「熱意」でした。「日本の教育をよりよくしていきたい」という熱い想いに、大いに共感しました。

今回、研修に参加させていただき、多くの情報共有を行うことができ、宮崎県と他県との違いや共通の悩みなどを共有することで、「自分自身の働き方」が変わるような感じました。ただ、ここで終わらせてはいけません。全日教連がどのような役割を果たしているのか、宮教研連が何を目指しているのかを、多くの方に知ってもらい、参加してもらう必要があります。その手立てを考えるきっかけとなる研修会でした。

(日向支会 安治川洋平)

宮教研連HP & 研修会Web申込

宮教研連では、これまで以上にHP・Webでの情報提供に力を入れ、研修案内や報告、ダウンロードページ等、内容の充実を図っています。是非、ご覧ください。URLは以下です。

(「宮教研連」で検索！)

<http://www.miyakyoukenren.sakura.ne.jp>

また、令和2年度から県主催の研修がWeb上から申込できるようになります。PCでも携帯端末からでも利用できますので、ぜひ、ご活用ください。

宮教研連メールグループ (mkk-MG)

宮教研連では、会員の皆様のニーズに応じた様々な研修を計画しておりますが、その開催情報が行き届いていないのご意見もありました。そこで、この度、メールグループを立ち上げ会員お一人お一人へ情報を直接お届けすることに致しました。これは、GoogleGroupsの無料サービスを利用して提供するものです。ぜひ、全ての会員の皆様にご登録頂きますようお願いいたします。

ご登録は、mkk.mlist@gmail.com (右QRコード)まで、「宮教研連MG参加希望」とお書きの上、メールをお送り下さい。おおよそ1週間以内には登録されます。



今年もやります！

まずは
自分の力を
知ろう！

宮教研連主催
教員採用模試

(時事通信出版局公開模擬試験)

模試日時

令和2年5月24日(日) 午前9時から(受付)

模試会場

宮崎市内(令和2年4月上旬にホームページでお知らせします。)

宮教研連

研
み 教師力向上研修

すぐに役立つ授業のヒント！

新採・講師歓迎

豊富なアイデア

令和2年4月18日(土) 13:00~15:00

講師：末住祐子先生(宮崎小学校)

内容：国語科の学習指導 Webから申込できます。本会ホームページをご覧ください。

会場：宮崎県教育研修センター(予定)

主催：宮崎県教育研究連合会

お問い合わせ：070-5416-0833 mkk.kouhou@gmail.com